

2024年6月 (No.420)

## 主な内容とページ

調整続行か、日本の半導体市場 .....	1
天気晴朗なれども波高し、日本の半導体市況 .....	2
日本半導体市場、4年連続で最高記録を更新へ.....	2
日本の数量、金額、世界とズレ .....	3
日本市場、調整幅大きく縮小傾向.....	7
エヌビディア時価総額世界首位.....	7
日系半導体企業 20社、23年度業績 売上横ばい、利益4割減.....	9
医薬品と半導体の供給問題(SRL だより) .....	11

## 調整続行か、日本の半導体市場

半導体市場は世界的には回復をみせているが、日本市場は調整が続行しそうだ。

1. 米エヌビディアの時価総額が世界トップなるなど内外とも半導体産業への期待は高まり、各国政府の支援強化を含めて産業には追い風が吹いている。
2. しかし、輝いているのはほんの一握りの企業で、多くの半導体企業が業績悪化。日系企業も厳しい状況に置かれている。
3. 産業への追い風、エヌビディアの時価総額世界トップなど半導体産業が「産業のコメ」から社会生活で中核的、なくてはならない存在になるには、課題が山積、過渡期にあり、新たな取組、発想の転換が必要な時期のようだ。

## 医薬品と半導体の供給問題

弊社の事務所は30年ほど東京・お茶の水だった。街の変貌で気が付いたのはかつて「サラ金」でにぎわっていた駅周辺が、いつの間にか「薬局」だらけになったことである。有名な病院が複数あり、薬局が門前町のよりに集まったのだと思う。歴史を感じさせる古びた病院も高層ビル化が進み、時代の流れを感じた。

半導体と製薬産業は、代表的な技術資本集約産業である。薬分野は素人だが、世界的に大手(メガファーマ)が存在、病院向けと小売りの一般大衆薬に市場が大別される。半導体も世界的に大手ユーザー、大市場には直接販売、ユーザー数が多い産業用など代理店販売に大別されるなどに似通った面がみられる。

異なるのは、薬は、販売認可や価格に政府が関与、医療費の増大が課題になっていることである。出来る限り普及した薬の使用が推奨され、大衆薬メーカーは収益維持に四苦八苦、供給問題が発生しているという。半導体もコロナ感染期に品不足に陥り、その後政府補助金が世界的に増大、薬と同じ道を歩むのだろうか。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。但しオンライン法人契約を除きます。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。 2024 年 著作権所有 株式会社 SRL

### SRL Monthly Report

2024 年 6 月(毎月 1 回発行)第 35 巻 6 号(通巻 420 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042(318)7729

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2024

### SRL Monthly Report

June 2024, No.420

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

個人利用購読料金 1 年分 12 号 107,800 円(税込み)